

柑芦会 本部 ニュース

第18号 2021.1.1.



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. 新年ご挨拶



明けましておめでとうございます

柑芦会会長 北村 修一 (大18)

新しい年をご家族お揃いで清々しくお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年はコロナに明けコロナに暮れた一年でしたが、ワクチンの開発も世界中で進んでいるようであり、今年こそはこの騒ぎに一定の歯止めがかかり安心して日常生活を送れるようになりたいものです。

さて、今年の干支の「丑」の特徴は「粘り強さと誠実」だと言われています。柑芦会においても多くの課題を解決していくためいくつかの委員会を発足させ取組みを始めており、中にはすぐに結果に結びつかないものもありますが、それでも真摯にかつ粘り強く取り組むことによって一歩でも前進させていかねばならないと改めて心を引き締めております。

皆さまにおかれましても、引き続き柑芦会活動へのご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

2. 寄稿—①



研究日記より

和歌山大学経済学部 教授 辻本勝久

柑芦会のみなさまにはお世話になり誠に有り難うございます。私は学部講義「交通システム論」「交通まちづくり調査研究」などを担当している者です。伊賀は名張の生まれで、広島大学で学び、平成13年4月に和歌山大学へ採用となりました。

「柑芦会本部ニュース」の寄稿依頼を受け、テーマは完全に自由とのことですので、ほぼ毎日書き連ねている「研究日記」から、ちょうど1年前に当たる令和2年1～3月の記事を800字程度でピックアップすることにしました。「研究日記」とは名ばかりで、通勤中や執務中、出張中などに気がついたことや、趣味に関することを書き連ねた雑多な内容となっています。時折、写真も掲載しています。

(研究日記の URL は <http://tsujimotolab.livedoor.biz/> です。ぜひお読み頂ければ幸いです)

1月10日(金)

写真は、和歌山大学の近くにある栄谷観音さんです(撮影は正月三が日)。大学への行き帰りに門前をよく通ります。令和2年8月9日に「千日詣御開帳」があり、10年に1度、ご本尊の千手観世音菩薩を見せて頂けるそうです。

1月14日(火)

本日の記事「交通系 IC 利便性拡大 今春から JR ダイヤ改正も」(読売)。IC カードは4月より和歌山バスと和歌山バス那賀で使えるようになります。また3月14日より JR 和歌山線全線と JR 紀勢本線の和歌山市～和歌山～紀伊田辺間の全駅で使用可になります。これに伴い橋本駅経由の南海・JR 西日本 IC 連絡定期券の発売も始まります。

1月20日(月)

観世流謡曲「花筐」の稽古が終わり、次は「大原御幸」を教えて頂くことになりました。医療系の専門家によると、「花筐」のシテは統合失調症に違いないとのこと。なるほどと思いました。

1月22日(水)

田辺市の世界遺産・關鷄神社境内にある「七代目弁慶松」が枯れました。武蔵坊弁慶の立ち往生を哀れんだ人々が植えた松が、代々受け継がれて七代目。14年前に植えられた木で、まだ幼かったのですが。和歌山放送(令和元年10月7日)によると、先代の「六代目弁慶松」の種を使った再生が計画されているそうです。

1月28日(火)

ゼミナール所属の大学院生が、『運輸政策研究』に査読論文掲載決定とのこと。おめでとうございます!

2月12日(水)

和歌山市地域公共交通会議があり、路線バスの鳴神住宅前～信愛短期大学間、貴志～ふれあいの郷間、嘉家作～八軒家間の廃止が報告されました。和歌山市においても運転士不足が深刻であり、今後もこのような事例が出てくる可能性が大きいです。加えてデマンドタクシーの小島住吉～大川間の廃止と、地域バス紀三井寺団地線の減便が決まりました。

2月27日(木)

中将姫伝説にいう雲雀山とは、奈良県宇陀市菟田野の日張山青蓮寺のことか、和歌山県有田市糸我の得生寺裏にある雲雀山のことか、それとも和歌山県橋本市恋野の雲雀山であるか、様々な説が出されています。能の「雲雀山」には、「葛城や。高間の山の嶺つづき。此処に紀の路の境なる雲雀山に隠れ居て」という詞章があります。これを素直に読む限り、有田市糸我は紀州と大和の境にはないので候補から外れ、宇陀市菟田野の日張山は高間の山(=金剛山)の峰続きではなく、紀州の境でもないので候補から外れます。残るは橋本市恋野ですが、ここは確かに紀州と大和の国境にあり、かつ高間の山(=金

剛山)にもほど近い(ただし紀の川を挟むので嶺つづきとは言いにくい)。従って橋本市恋野説が妥当ではないでしょうか。あくまでも能「雲雀山」の台本を読む限りは、ですが。

3月11日(水)

株、原油、仮想通貨など、連動して急落してきています。株や仮想通貨の下落は、仕込み時という点ではチャンスなのですが、まだこの先どれだけ下がるのか予想できない状況のため静観しています。「落ちる剣はつかむな」という格言があります。

3月25日(水)

卒業式が開催されました。ゼミの卒業生には記念写真集を渡しました。写真集に入れることができなかった、紀淡海峡に沈む夕陽の写真を掲載します。「紀の海や。波吹上の浦風に。波吹上の浦風に。跡遠ざかる沖つ舟。潮路程なく移り来て。よそに霞し島かげや。淡路瀧にも着きにけり。淡路瀧にも着きにけり」(能「淡路」)

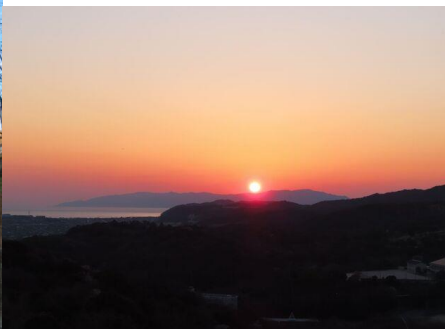
以上、紙幅が尽きましたので、終わらせて頂きます。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。
(写真はすべて辻本撮影)



栄谷観音



世界遺産・關鷄神社



紀淡海峡に沈む夕陽

2. 寄稿—②



新年ご挨拶

柑芦会副会長・東京支部長

末廣利明 (大26)

新年あけましておめでとうございます。コロナ禍の下で、ともすれば気持ちが塞ぎそうになりますが、この1年、会員の皆様とともに明るく生き抜く逞しさを持ち続けたいと思います。

私事で恐縮ですが、今年は43年間続けてきた「会社人」の肩書を下す年になります。思い起こせば私が就職活動を行った1977年は、第1次オイルショックの余波が残っており、会社訪問解禁日が10月1日、会社内定式が11月1日という短期決戦でした。最終的に就職先に選んだ某損害保険会社との縁は、夏季休暇中に、同じゼミ生4人で先輩の勤務場所を訪問したことが始まりでした。その時にビアホールで4人まとめてご馳走してくださったのが、現和歌山支部の小滝信先輩（20期）であります。実はその後も、入社前から会社の柑芦会の諸先輩には破格の「厚遇」をしていただきました。内定の通知をもらった時に人事担当者から「大阪の営業課長に大学の先輩がいらっしゃるから挨拶しておくように」と勧められ、実際に挨拶に行くと昼食をご馳走になると、その先輩からは「内定式で東京に行ったら本店営業部長の先輩のところに行くように」と導かれ、入社前から本店の部長デスクの傍に居座り、営業職員の仕事ぶりを眺める機会を得ました。極めつけは内定式後の健康診断で、同期皆で列に並んでいると、突然「末廣君というのは居るか」と健康開発センター長の先輩から声を掛けていただき、同期からは「お前、意外と抜け目ないな」と嬉しい誤解を受けることになったのです。当然のことながら入社後も会社の柑芦会員のつながりは強く、顔を合わせるたびに気持ちを新たに、翌日からの仕事に向き合ったことを覚えています。

同窓会は、異なる人生を重ねてきた／重ねている／重ねようとしている人たちの集まりであり、専ら精神的なつながりに依拠する組織です。また、存在自体が学校や現役学生の黒子のようにもあります。こうしたことから、企業とは異なり、ビジョンだとか戦略といったものには馴染まない組織といえます。従って、目の前の課題を1つ1つ解決していくことが重要であり、北村会長の下、引き続き柑芦会として地に足ついた取組みを進める1年にしていきたいと思っています。

皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。



3. 本部情報

香村賞

本年度（第11回）香村賞審査会実施さる

本年度（第11回）の香村賞の審査は、12月18日（金）13：30から和歌山大学産学連携イノベーションセンター（北4号館）で行われました。

応募は「ビジネスアイデア」部門12件（29名）と新設の「起業実践」部門1件（1名）計13件（30名）で、1件当りプレゼン6分・質疑5分の審査です。

審査結果は下記の通りです。

「ビジネスアイデア」部門

優秀賞 「位置で重なるお出かけメモアプリ Dropy」 システム工学部 4年 山内響太

準優秀賞 「お気に入りを持ち出そう！紙袋のためのクリアカバー」

経済学部 3年 高橋菜々子、殷 思懿、朝倉結香子

奨励賞 「エキチャク～「今から帰る」を自動でお知らせ～」

経済学部 3年 寺田修造、橋本健太、溝口 裕

奨励賞 「tenkyuubi (サンキュー+定休日=テンキュービ)」システム工学部 3年 川田祐輝

「起業実践」部門

敢闘賞 「ファンコミュニティ型ゲストハウス」 観光学部 2年 井上佑輔

企業賞

紀陽情報システム賞 「稲村の火になろう」 システム工学部 3年 田中桂央

同上 賞「お気に入りを持ち出そう！紙袋のためのクリアカバー」(受賞者名は上記に同じ)

ラック賞 「稲村の火になろう」(受賞者名は上記に同じ)

審査員は下記の方々(10名)です。

大学 伊東学長、恵下理事、山本理事、マグレビ学部長、本庄講師、似内副センター長

柑芦会 北村修一、東海秀明、渡邊 豊、山口しのぶ

審査会の後、交流会・授賞式が行われました。

(筆 本部事務局)

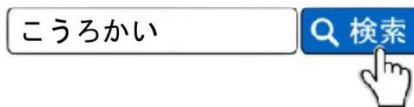


和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局

〒540-0012 大阪市中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207 号

Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925

E-Mail: honbu@kourokai.com URL : <http://www.kourokai.com/honbu/>



フェイスブック

ホームページ「柑芦会」

「柑芦会オフィシャルグループ」
